

## 第4学年 特別の教科 道徳 学習指導案

対象 第4学年4組

指導者 平林 隆太

- 1 主題名 思いやりを行動で [内容項目] B 親切・思いやり  
 教材名 「ポロといっしょ」(出典：東京書籍 新しい道徳④)

### 2 本時について

#### (1) ねらい

相手の身になって人を思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。

#### (2) 本時の展開

	主な発問(発問○ 中心発問◎) 予想される児童の反応(C)	・指導上の留意点 ◇評価規準(評価方法)
導入	1 困っている人を見かけたときのことを発表する。 ○困っている人を見かけたときのことを発表しましょう。(表) C小さい子が迷子になってかわいそうだった。 C重たい荷物を持ったお年寄りを見かけて大変そうだった。	・困っている人を見かけたとき、どんな気持ちになったのかについて想起することで、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	2 教材「ポロといっしょ」を読んで話し合う。(表)(尊) ○毛布にくるまって横になったままのおばあちゃんを見て「ぼく」はどんなことを思ったでしょう。 C心配だな。 Cどうしたら元気になるかな。 C食べないと体が弱ってしまう。  ○「ぼく」はなぜ、おばあちゃんをポロに合わせようと思ったのでしょうか。 C自分もポロといたら元気になるから。 Cポロのおかげでおばあちゃんが少し元気になったから。 Cぼくよりポロの方がおばあちゃんに元気をくれそうだから。	・避難所生活の不自由さや大変さについて説明してから発問する。  ・ポロに出会ってからのおばあちゃんの変化に着目し、「ぼく」の行動に対して深く考えられるようにする。 ・自分の経験を基におばあちゃんを元気づけようとする「ぼく」の気持ちを捉えられるようにする。

	<p>◎ぼくが、「なんだか、いてはいけないような気がした。」のはなぜでしょうか。 (表) (尊)</p> <p>C そっとしてあげたいと思ったから。 C ポロだけに話を聞いてほしいのだろうと思ったから。 C 「ぼく」よりもポロに聞いてもらうほうがいいと思ったから。 C 「ぼく」がいたら話せないかもしれないから。</p> <p>3 親切について話し合う。</p> <p>○困っている人を見かけたら、あなたならどうしますか。(尊) (言)</p> <p>C 自分だったらと考えて行動する。 C そっとしておいた方がいいと思ったら、そっで見守る。 C 相手の様子を見てから行動のしかたを考える。 C 自分にできることを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに書く活動に取り組ませた後、グループで自分の思いを交流できるようにする。その後、学級全体で話し合い、多様な考えに触れるようにする。</li> <li>・思いやりのある行動にはいろいろな形があることを共有する。</li> </ul> <p>◇相手の身になって親切にするときの気持ちやそのよさを考えている。 (発言・ワークシート)</p> <p>◇自分なりの方法で人を思いやり、行動することの良さについて考えている。 (発言・ワークシート)</p>
終末	4 思いやりの心についての映像を流す。	・映像を観て自分だったらどのように行動するか考えられるように促す。

(3) 板書計画

